

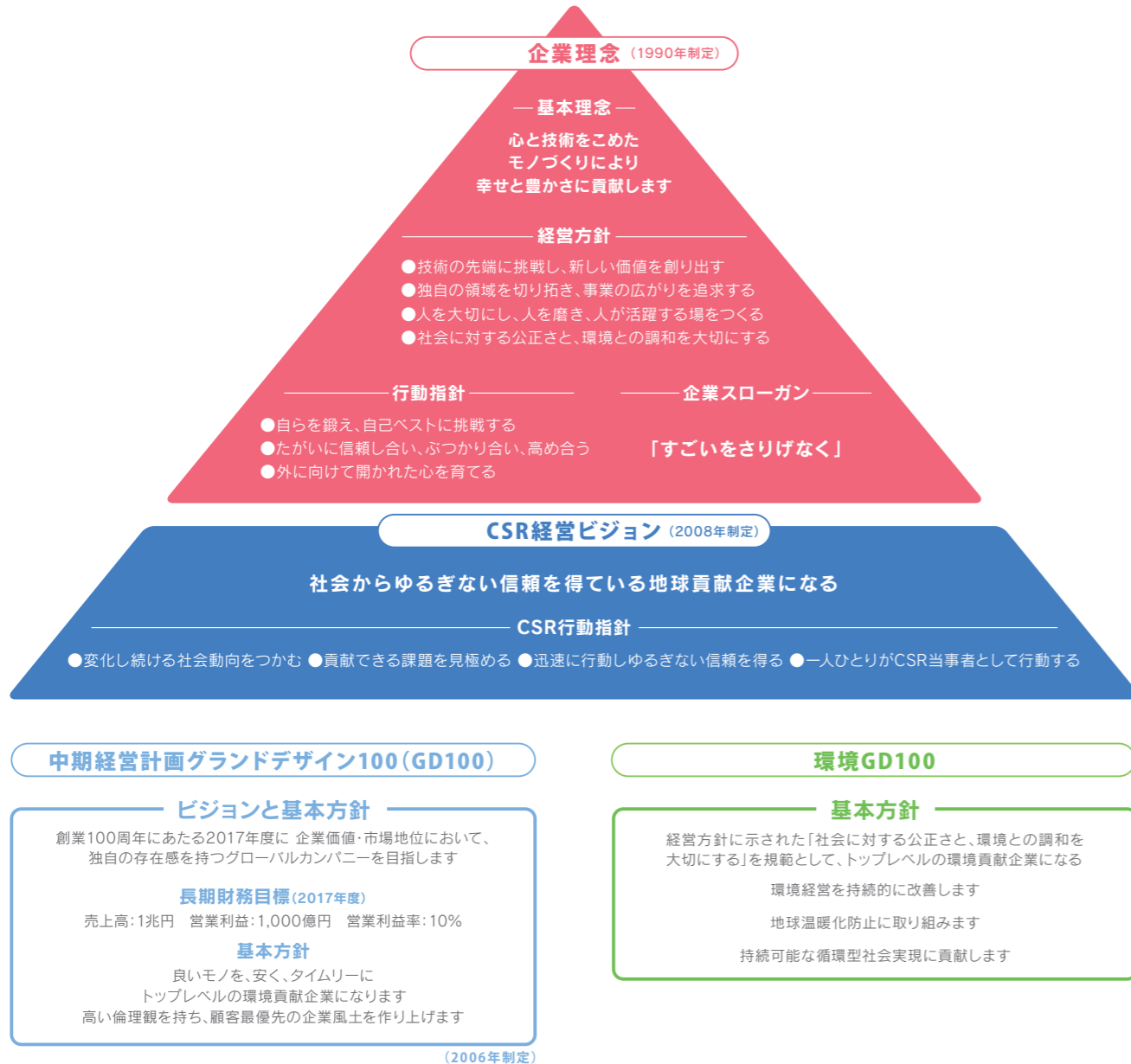
企業理念・横浜ゴムグループのCSR

企業理念とCSRへの考え方

横浜ゴムは、1990年に企業理念を制定しました。企業理念は「基本理念」「経営方針」「行動指針」からなります。「基本理念」は将来に向けて、横浜ゴムが一貫してこだわり続ける目指すべき姿、「経営方針」は経営陣が自らに約束する経営の基本姿勢、「行動指針」は従業員一人一人が自らに課す行動規範です。

2006年には、中期経営計画「グランドデザイン100」(GD100)を策定、2017年度に売上高1兆円のグローバルカンパニーになることを明言しました。その際、国際社会から大きな期待・要請を受けることを強く認識し、その基本方針に

「トップレベルの環境貢献企業になる」「高い倫理観を持ち、顧客最優先の企業風土を作り上げる」を掲げ、CSR重視の姿勢を打ち出しました。2008年には社内の組織を改め、CSR本部を設置し、CSR経営ビジョンを社内外に公表。「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」というビジョンには、「Corporate Social ResponsibilityのRを『責任』ではなく『信頼』と言い換えよう」、「なじみある言葉で理解し日々の行動につなげよう」という意図がこめられています。



横浜ゴムグループのステークホルダー

2008年のCSR本部設立以降、私たちは日々の取り組み、今後取り組むべきCSRの課題を整理し、ここに掲げるステークホルダーを選定しました。選定に当たってはGRIガイドライン、ISO26000、日本経団連企業行動憲章などを参考にしています。

お客さま

心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさにご貢献します、という基本理念は、まず第一にお客さまに向けた私たちの宣言です。私たちはお客さま最優先の企業風土を作ることを目指しています。

従業員

働く人の人権や安全に配慮し、能力を存分に発揮できる環境を整えてこそ、企業の持続的発展が可能になると認識しています。経営方針にも、「人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくる」ことを明文化しています。

取引先

私たちは多様な取引先とのパートナーシップにより事業を展開しています。公正、かつ自由な取引を行い、共存共栄の関係を築いていきます。

株主・投資家

私たちは技術の先端に挑戦し、新しい価値をつくり出すことで、持続的な成長を実現し、適正な利益の還元を行います。同時に、適正な情報開示を行い、株主・投資家の皆さまの期待に応えます。

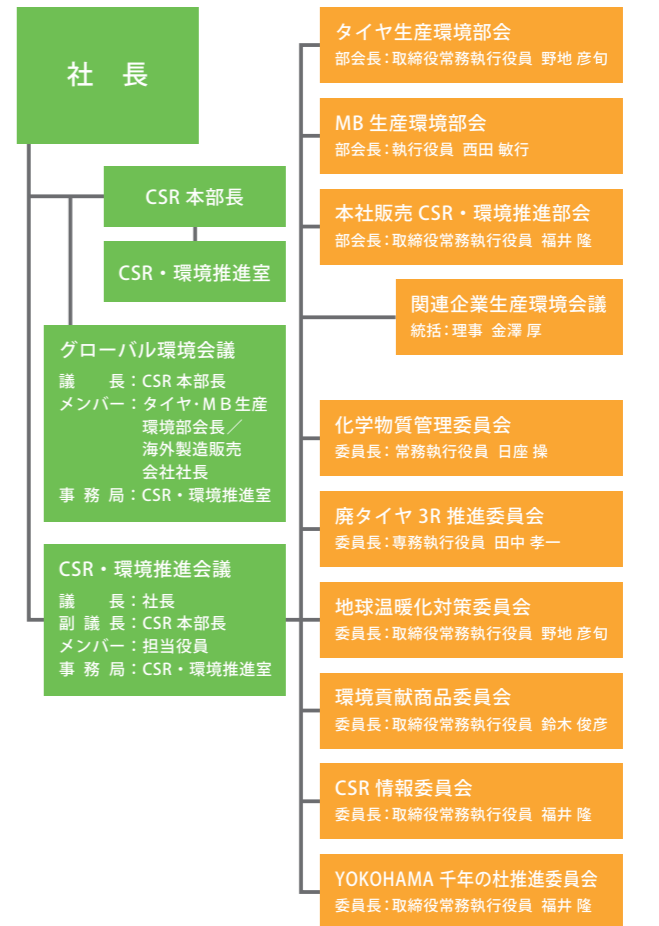
地域社会

グローバルに事業を展開する私たちは、環境や法律、文化、習慣、経済などの面で地域社会と関係を持っています。さまざまな地域社会とバランスの取れた良好な関係を築こうと努めています。

CSR・環境経営推進体制

社長が議長を務めるCSR・環境推進会議を年に2回開催しています。社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になるため、横浜ゴムグループが取り組むべきCSRの課題について立案・検討する体制を整えています。この会議の下部組織として3つの部会、6つの委員会、1つの会議を設け、当社におけるCSR・環境活動を推進しています。毎年11月には、CSR・環境推進会議において、横浜ゴムグループのCSR活動のパフォーマンスを評価し、次年度の改善に結び付けています。

また、世界の全拠点で、高質で同質の環境経営を行うことを目指し、海外全生産拠点の経営責任者による「グローバル環境会議」を年に1回開催しています。2009年度は12月24、25日の2日間で行われ、海外の全生産拠点および主要販売子会社から20人が参加。当日は、環境方針、環境活動をメインテーマに議論が行われました。2010年度は、CSR活動の推進および高質で同質の環境経営の実現を目指し、取り組みを進めていきます。



■CSR・環境経営推進体制(2010年6月現在)